

洋光台エリア会議 報告資料

- ・新型コロナウイルスのケアプラザの対応について
- ・地域活動ネットワーク・洋光台“わっふる”
- ・消費者被害・社会参加についてのアンケート

令和2年12月11日

洋光台地域ケアプラザ

1

新型コロナウイルスのケアプラザの対応について

■3/1～5/31 基本閉館対応

- ・職員は分散出勤。テレワークなどで対応
- ・デイサービス 感染予防に努めて事業継続。自主的に休む方も多く、利用実績は低い
- ・居宅介護支援 訪問は控え、電話での状況確認などで対応
- ・地域包括支援センター 主催事業・研修等中止。相談対応は通常通り
相談数は少ない
- ・地域交流・生活支援 貸館・自主事業は中止。COは外出を控える

■6/1～ 開館

- ・入館時のマスク着用、玄関入口で手指消毒の徹底、来館前の検温依頼
- ・受付のビニールカーテンと相談コーナーにパーテーション設置
- ・貸館対応：活動中のマスクの着用、換気、利用終了後の消毒
人数制限と活動内容を制限

■8/1～ 貸館利用要件一部緩和

2

新型コロナウイルスのケアプラザの対応について

■10/1~現在

- ・ 検温・消毒
体温測定カメラ、自動手指消毒器の設置
- ・ 貸室
定員：多目的ホール50名 調理室5名 地域ケアルーム10名
ボランティアコーナー25名
※食事会・茶話会の時は定員の半分以下
- ・ 活動
出席者・利用者同士の間隔【最低限人と人が接触しない程度の間隔（目安1m）】を十分に確保した上で実施
利用不可の活動：社交ダンス等

3

地域活動ネットワーク・洋光台“わっふる”

■ 新型コロナウイルス禍の中の取り組み

- ・ メッセージアプリLINEを使用したテレビ会議の実施
- ・ メッセージ横断幕
→まちの皆さんと気持ちを分かち合おうと手作りで作成
- ・ 地域の方から寄せられたメッセージの掲示板を設置
→暗い気持ちを明るくしたいという意見から考案



4

地域活動ネットワーク・洋光台“わっふる”

■ 新型コロナウイルス禍の中の取り組み

- ・ 地域活動団体に往復はがきを使って、コロナで自粛期間中に「困ったこと」「工夫したこと」「活動が再開したらやりたいこと」を聞く
- ・ 活動を再開した団体に「再開してよかったこと・問題点など」をインタビュー
⇒ 「コロナ禍のお便り掲示板」を設置して、会えない時間を共有



5

地域活動ネットワーク・洋光台“わっふる”

■ 今後の活動予定

- ・ わっふるまつりで集まった本の無料配布を実施（毎月第3水曜日）
- ・ お花見ウォーキング（3月27日（土））

ルート（案）

駅前公園（スタート）⇒中央団地裏⇒三丁目東公園⇒一街区⇒三街区⇒西公園（ゴール）



洋光台 第2回「お花見ウォーキング 2019」

2019-3-30

6

消費者被害・社会参加についてのアンケート

■趣旨

- ・洋光台は消費者被害の件数が区内ワースト1。洋光台のまちを安心して暮らせる住みよいまちにするためには、「消費者トラブルについて正しく知ること」、「トラブルを未然に防ぐために地域のチカラを高めていくこと」が必要ではないかと考え、コロナ禍の中でも人が集まらずに行える、アンケートを実施することになりました。

■実施主体

- ・洋光台地区消費生活推進員 ・洋光台地域ケアプラザ

■調査対象

- ・六丁目南自治会240世帯・峰洋自治会320世帯⇒戸建てが多いエリア
- ・六街区自治会650世帯⇒団地のエリア

■実施期間

- ・11月1日～11月30日

7

消費者被害・社会参加についてのアンケート

■回答方法

- ・アンケート用紙に記入
- ・QRコード



■今後について

- ・アンケート内容を分析し、地域の方へのフィードバックの仕方について、連携・協議の場を開催していく

8